



TOP > 観光スポット > まち歩き、公園 > 中野区唯一の美術館「東京黎明アートルーム」

シェア

ツイート



中野区唯一の美術館「東京黎明アートルーム」

2021.12.10 UP JR中央線沿線エリア 投稿者：まるっと中野編集部

[観光スポット] [まち歩き、公園]



JR総武線「東中野駅」西口より徒歩7分、閑静な住宅街の中にあるのが、「東京黎明アートルーム」です。

中野区唯一の美術館として、2005年にTOREK Art Roomがオープン。その後、2015年に「東京黎明アートルーム」としてリニューアルしました。主に日本とそれに関連するアジア諸国の絵画、彫刻、陶磁器などの美術品を展示しています。



自らの美術コレクションを積極的に公開し、美術の普及に力を尽くした、芸術家、哲学者、宗教家であった岡田茂吉さん（故人）の意志を継ぐ施設となっており、他の美術館にもしばしば作品を貸し出しています。



エントランスに入ると、常設展示作品である「持国天・多聞天立像」が出迎えてくれます。
※こちらの作品のみ撮影が可能。他の作品は今回、特別に許可を得て撮影しています。



1階の展示室には、「菩薩トルソ」「兜跋毘沙門天立像」「如来立像」「如来頭部（ストウッコ）」を常設展示。



取材に伺った日は、1階、2階の展示室にて、「西アジアの土器と鍾馗&天神の絵画」展が開催。テーマを設定した展覧会は、年7回のペースで開催しています。



イランから出土した「注口付コブ牛形土器」。紀元前900～800年ごろの作品。



人気のある河鍋暁斎の「鍾馗と鬼図」。



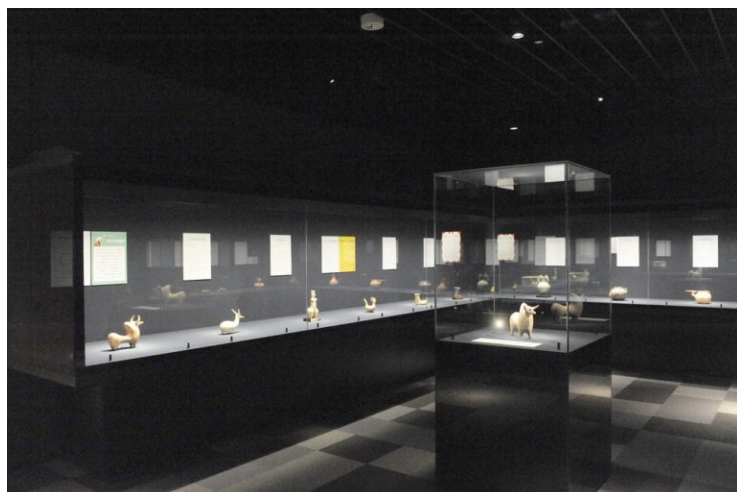
鍾馗&天神の絵画。



こちらの美術館では、初心者でもわかりやすいよう、イメージプロジェクション（映像）を使って解説もしています。キャプション（解説）もわかりやすく、作品への愛が伝わってきます。



2階には、ソファや椅子がある休憩ラウンジや茶室などが用意されています。鑑賞で歩き回った後は、ほっとひと息つくことができます。



なお取材当時、地下の改装工事中でした。聞くところによると、新しい展示室ができるそうで、楽しみが広がりますね。

作品1点1点を落ち着いて味わえる「東京黎明アートルーム」で、心地よい「アートな時間」を体験してみませんか。

東京黎明アートルーム

所在地 東京都中野区東中野2-10-13

電話 03-3369-1868

開室時間 10:00～16:00

休室日はホームページをご覧ください

料金 一般600円 20歳未満無料

※障がい者手帳をお持ちの方および介添者は300円引

アクセス JR総武線「東中野駅」西口徒歩7分

※駐車場2台あり

★ホームページは[コチラ](#)



※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご迷惑をおかけすることをご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。